




2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

写真提供: 地之上 世会員

Rotary  **倉敷南ロータリークラブ**
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 2961 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：曇り No.2961/2024. 4. 19

Guest 梶山和洋様（岡山県立倉敷商業高等学校 野球部監督）

Visitor 津高様（総社吉備路）

出席 会員数 60 名（うち出席規定免除者 16 名②名①4 名）

4/19 の出席率 68.63%（出席者 35 名、内①7 名）

欠席 浅見、馬場、石本、栗元、三宅(典)、中川、沼本、関家、滝川、渡辺(英)、
横田、吉住、大段、井手、渡辺(昇)、山根、各会員（16 名）

●土井会長

・【会長の時間】 先日は、身内の葬儀のため欠席しました。失礼しました。先日は黄砂がすごかったですね。黄砂で暗くなるのは「よなぐもり」と言い、春の季語だそうです。さて、4/6 に京都へ行ってきました。京都は快晴の中、桜が咲き誇り、桜を満喫してきました。夕方からは、150 回の「都をどり」を席にもご配慮いただき、芸奴・舞妓さんの踊りが本当に美しかったです。体の線から手先まで本当に洗練された踊りで、プロ意識はすごいと感心いたしました。また、海の向こうでは大谷選手が活躍しています。私は医者をしておりますが、先日外来で最後に入ってきた患者が、お名前と生年月日はと聞くとそこに書いてあるだろう。2 時間も待たせて客をなんと思っているんだといいました。私は客だとは思っていないといいました。すると席を立ってこんなところでは診てもらわなくていいと出ていきました。患者さんを私は客とは思っていません。協同作業。病気と対決するための仲間だと思っています。微力ですが、自分なりの診療の形をつらぬきたいと考えています。祇園の芸奴さん、大谷選手、程度の差はありますが、人は全身全霊をかけ形をつくるのが生きる証の一つかなと思う今日この頃です。

・4/26 はクラブ定款により取りやめ、5/3 は祝日、次回の例会は 5/10 になります。

●幹事報告（山本幹事）

・ロータリー米山記念奨学会より、ハイライト米山 289 号、他来信 3 件

●スマイル報告（小田 S.A.A）

- ・土井会長、山本幹事、小田 SAA：①本日の卓話講師の梶山様のお話を大変楽しみにしております。②総社吉備路 RC 津高様の訪問を歓迎いたします。
- ・三宅繁会員：妻の誕生日にきれいなお花を贈っていただき有難うございました。
- ・齋藤会員：4 月より会長になりました。全て社長にお任せで大丈夫ということでしょうか。印刷のご用命を宜しく申し上げます。
- ・小田 S.A.A：総社吉備路 RC の津高篤さんのご来訪を歓迎いたします。50 年来の友人です。本日梶山監督に来ていただいたのも津高さんのお陰です。

●プログラム卓話： 演題「倉商野球部から学んだこと」

岡山県立倉敷商業高等学校 野球部監督 梶山 和洋 様

- ・令和元年8月に監督に就任しました。生徒の力もあって10月に岡山県大会準優勝、11月に中国大会で創部はじめての優勝をしました。地区大会優勝チームは、明治神宮大会に出場できますが、健大高崎に延長タイブレークの末、残念ながら負けましたが、健大高崎の監督にもいいチームだねと言っていました。
- ・令和2年、3年は夏の岡山県大会で優勝しました。令和2年は甲子園大会は中止、令和3年は智弁学園に負けました。練習場に今もこの時のスコアを掲げています。
- ・令和4、5年と岡山県大会 準優勝で2年連続目の前で甲子園を逃すという悔しい思いをしています。倉敷商業としては、現在5年連続で決勝進出しています。
- ・令和2年のコロナの時のテレビのインタビューで「今、生徒たちの顔が思い浮かんでいると思いますが、どのような事をお考えですか」と言われ、泣いている姿が報道され、それを見たキャプテンの原田が「一番落ち込んでいる梶山先生が元気になるように前を向いて頑張ろう」とグループラインにメッセージしたのをみて、逆に生徒に元気づけられると同時に、いかに子どもたちが強いかにということに気づき、子どもたちから学ばせてもらうことが多いことに気づきました。
- ・一教員として高校生に伝えていることは、特に社会に出てからの話をしています。若者に求められる能力は、1つ目は「元気と活気」「素直さと感謝」「社会に出て可愛がられる人間になろう」と話しています。2つ目は、「答えのある世界から答えのない世界へ行く」ということ、「感じる力・気づく力・考える力」が大事。我々教員も日々生徒とともに成長していかなければいけないと思っています。竹書房から2023年8月に「心技体頭倉商野球」という本を出しています。もしよかったら読んでいただけたらと思います。その中で、年を取ったら失っていくものは、若さと必死さです。仕事を本気でやって泣くこと、喜ぶこと、感動することができ、こんな幸せな人生はないと思っている、と友人には話しています。

例会プログラム予定：5月10日(金)卓話 ①次期地区研修会の報告 三宅(典)次期R財団委員長②地区ロータリー米山記念奨学生オリエンテーションの報告 横道会員 /5月17日(金)卓話 クラブ協議会/(次期地区)クラブ活性化ワークショップの報告 出席された方